佐久視聴覚ライブラリーだより
2025 年度 秋号

教材活用部おすすめ作品
テーマ『 人権教育 』

≪教材活用部からのコメント≫

2025 年度秋号のテーマは人権教育です。「人権」というと何か難しいことのように聞こえますが、人権とは「誰もが生まれながらに持っている権利」です。飼われている牛がどのようにして私達の食卓に食肉として提供されるのかを知ることは食材を生産・加工する方々への感謝の気持ちに繋がるのではないでしょうか。また、日ごろ何げなく過ごしている日常生活ですが、認知症やいじめを受けているなど、その人にしか分からない生き辛さや苦しい気持ちがあるかもしれません。

おすすめ作品を観ることで自分や家族、友達、様々な人々を尊重することの大切さを感じ、考えることができると思います。

人権教育 30
対象：小学校高学年～中・高校生

食卓に並ぶ牛肉がどのように命から食材へ変わるのか―

食肉加工センターで働く青年の視点を通し、生きている牛が命を絶たれ、解体され、商品として流通するまでの一連の流れが、映像としてしっかりと描かれ、視聴者に「命をいただく」という行為の重みを突きつけます。

流血や解体のシーンがあり、視聴に際し、十分な配慮が必要なことから、特に感受性の高い生徒や初めてと殺の現場にふれる方には事前説明やフォローが推奨されます。また、部落・就職差別の問題にもふれていますが、主題はあくまで「命と食の尊厳」に向き合います。

人権教育 74
対象：小学校高学年～中学生

おばあさんの家に遊びに行ったサキさん。何度も同じ質問を繰り返すおばあさんを見て「おかしいな。」と気付きます。

おばあさんは認知症の症状が出始めていたのです。その時、どのように接すればよいか、また、近所に認知症の人がいたらどういう対応をすればよいかなど、症状の正しい理解と接し方の基本について学んでいきます。

認知症について正しい知識を自然と身につけることにより「相手の気持ちに寄り添った接し方を意識しよう」と考えるきっかけにもなります。

人権教育 79
対象：小 4～小 6

人間関係にここまで大きな影響を与えかねない「ネットいじめ」の怖さが、まるで実体験のように分かる内容。さらに心のいじめ、身体のいじめといったワードも出てきているので、「いじめ」全体に関わる指導を通して人権について考えることができます。

佐久視聴覚ライブラリーでは「教材の配送・回収を無料」で行っています。
電話・ＦＡＸ・ホームページから申込みができます。
気になる教材があればお気軽にご連絡ください。

佐久広域連合 佐久視聴覚ライブラリー〈佐久市取出町 183〉
TEL・FAX 兼用　0267-62-7179　http://www.areasaku.or.jp